

カンガルーシップ活動 就労支援プロジェクト 実施報告書

報告日	平成27年3月6日
主管学校名	群馬大学教育学部附属特別支援学校
P T A 会長名	山口千津

実施概要	主管校	群馬大学教育学部附属特別支援学校
	交流校	
	実施活動名	「作業学習『喫茶サービス』にかかる支援・広報活動」
	実施日時	平成26年4月～ 通年
	実施場所	「まちなかサロン」（前橋市中央商店街内の前橋市所有の共有スペース） 他
	実施目的	作業学習「喫茶サービス」について、喫茶店の運営が円滑に行われるようにするとともに、地域の方々からの理解・協力が得られるようにすること
	実施内容	サービス向上へ向けた助言や材料購入等の資金援助、地域へ向けた広報活動
	実施方法	作業学習「喫茶サービス」を行う店舗に保護者が来校した。地域の方々をはじめ、関係者に向けて来店のお願いや活躍の場の提供依頼を行った。
参加人数	保護者25名程度、生徒15名程度、来店者数のべ800人程度	

報告事項	内容	<ul style="list-style-type: none"> ・学校が主体となり地域の商店街に開いた喫茶店「群大附特カフェ『スマイル』」で、地域の方々にコーヒーの提供サービスを行っている生徒に対して、保護者はお客役として積極的に来店して、サービス向上に向けた意見を伝えました。あいさつの仕方や注文のとり方等、主にコミュニケーションに関する事項について、お客の立場から「あいさつはお客様を見て行いましょう」「もう少し大きな声が出せると良いですね」と、具体的な方法を提案して伝えました。 ・材料の購入等、資金面でも保護者が積極的に支援しています。 ・「群大附特カフェ『スマイル』」での生徒の取組について、地域の方々からの理解と協力を得られるように、ちらしの配付やポスターの掲示のお願い等、広報活動を行っています。前橋市内や群馬県内で行われるP T Aの会議にて、「群大附特カフェ『スマイル』」の取組を取り上げて、活動の意味や今後の発展性について紹介したり、保護者の具体的ななかかわりについて報告したりしました。
	結果	<ul style="list-style-type: none"> ・生徒は、コミュニケーションに関して、保護者の具体的な提案を受けて接客の方法を改善していくことで、場面に応じた適切な接客の仕方を身に付けてきています。あいさつをする際は、お客様のいる方向に身体を向けることや目を見て話すことについて定着が図られてきています。 ・お客様に喜んでもらうためにはどのような豆が必要かを検討している生徒もいます。保護者の資金面での支援の結果、少し値段が高くてもお客様に喜んでもらえるようなおいしいコーヒー豆を購入する事ができています。お客様からも好評を得ています。また、必要物品の購入が計画的にできていることが、安定したカフェの運営につながっています。 ・保護者による広報活動の成果により、来店するお客様の客層が広がってきています。これまでは、店舗周辺の方々が多かったのですが、それらの方々に加えて、前橋市以外でも活動に興味を持った方の来店が増えてきています。
	所感	<ul style="list-style-type: none"> ・生徒の中からサービス業に就職した生徒が出てきており、カフェの作業が、実際の就労につながった実績があります。保護者が積極的にお客役としてかかわることで、生徒の成果と課題をよりの確に把握することにつながっています。その成果と課題を踏まえて、保護者が就労を意識して家庭でも支援することで、教育効果が高まっていると感じています。 ・資金面の援助や広報活動によって、安定したカフェ運営と客層の拡大が図られています。今後も、地域の中で障害がある方が活躍するという一つのモデルケースになり得ると期待しています。

添付書類	収支決算書、領収書添付シート、参加感想、活動の様子の写真 ホームページの掲載は可
------	---

カンガルーシップ活動 就労支援プロジェクト 参加感想

提出日	平成27年3月6日		
学校名	群馬大学教育学部附属特別支援学校		
学年		氏名	

1. 高等部生徒

- ・お客様から「おいしかったよ。ありがとう」といわれた時はとてもうれしかったです。
- ・私はホールで接客して、友だちはキッチンでコーヒーを入れています。仕事を分担して協力して頑張っています。
- ・「おもてなしコーヒー」の豆挽きは大変です。でも、上手に挽けた時はおいしいコーヒーを入れることができるので、頑張っています。
- ・お母さんがお客さんで来て緊張したけど、上手にコーヒーを運ぶことができました。
- ・私は、卒業してお店で働きたいです。そのために、この群大附特カフェ「スマイル」では、大きな声であいさつしたり、仕事を最後まで頑張ったりしていきたいです。

2. 中学部生徒

- ・高校生の先輩と一緒に仕事をしています。高校生の先輩のように大きな声で「いらっしゃいませ」「ありがとうございます」を言えるように練習をしています。
- ・チラシを配ってお店の宣伝をしました。たくさんのお客さんが来てくれました。
- ・身だしなみをしっかりできるようにしたいです。

カンガルーシップ活動 就労支援プロジェクト 参加感想

提出日	平成 27 年 3 月 6 日
学校名	群馬大学教育学部附属特別支援学校
氏名	

1. 群大附特カフェ「スマイル」の運営や作業について

- ・生徒は、保護者や地域のお客様の要望を聞き入れて接客の仕方を改善していくことで、生徒の接客がどんどん上手になっていると思います。
- ・生徒と地域のお客様とのかかわりが、コーヒーをお客様に提供するということをとおしてできている所が素晴らしいと思います。
- ・「おもてなしコーヒー」として、普段のコーヒーより高価な豆を使って、しかも、挽く所から生徒が行っていて、お客様から好評を得ていることが良かったです。
- ・「おもてなしコーヒー」は、生徒が豆を丁寧に挽いて提供しています。子どもの頑張りが、そのままコーヒーのおいしさとして伝わってくるのがとても良いと思います。
- ・地域のコーヒー専門店の店長さんをお招きして、専門的なコーヒーの入れ方を教えてもらっていると聴きました。おいしくお客様に喜ばれるコーヒーが出せることはとても良いと思います。

2. 広報活動について

- ・地域の方がチラシを見て来店くださると聴いています。広報活動の効果が出ていてうれしいです。
- ・生徒がチラシ配りに出かけるなど、広報活動でも地域とのかかわりができていると思います。
- ・保護者が、他校の方との会議などで積極的に群大附特カフェ「スマイル」について宣伝することで、興味を持った方が来店して下さり良かったです。今後も様々な機会を活用してアピールしていきたいと思います。

3. その他

- ・生徒の作業学習に積極的にかかわることで、生徒たちの学校での様子がとてもよくわかりました。精一杯頑張っている生徒の姿を見て感動しました。
- ・実際にサービス業に就職する生徒もいて、この作業が就労に直接結びついていると実感します。生徒の就労に向けて、保護者としてかかわれることがとてもうれしいです。
- ・地域で作業する生徒の姿から、卒業後に地域社会で就労していくということはこういうことかと、保護者が想像することができたと思います。生徒自身にとっても、地域で生きていくということをイメージすることができる貴重な機会となっていると思います。

群馬大学教育学部附属特別支援学校 作業学習『喫茶サービス』の様子



「群大附特カフェ『スマイル』」の開店準備の様子



「おもてなしコーヒー」の豆を挽く様子



「おもてなしコーヒー」を入れている様子



オレンジジュースを用意している様子



お客様の所へ運ぶ準備をしている様子



保護者が客として来店してアドバイスをしました。